

雨山(996m)～天山(1046m)

2月21日(土曜日) 晴れ 一人で

我が家から天山を眺めると、すっきりしているので9時30分に晴氣の信号より右折県道337号線を曲折しながら天山上宮の下にある駐車場に、先客の4台車が停める。準備を、西に車道歩きで10分先の標識より久しぶりに雨山に南より急斜面のルートから登る事に、歩く人があまりいないのではと、ススキ・ササは生い茂ってブッシュ化が進んでいるのでと思っていたのになんと本日は若者が一人で登山道の草刈りをしているのにはびっくり、こんにちはありがとう・・・お礼をする。

先に歩くと足元には丸太のステップが切ってあるが、古く歩く人がすくなくでも踏み跡はちゃんとある、刈った草が登山道に歩きづらく、ストックにて払いながら雨山山頂に着くのに時間がかかった。

山頂標識はなく、石碑がポツンと立って狭いピークである。

天山山地を正面に長い稜線が東に向かって続いている。

春から秋にかけて色とりどりの花が咲きほこって目を楽しませてくれる

素晴らしい縦走路である。

今日は雨山から北に下り分岐を西に下ると岸川に、その先鞍部の四辻より西に歩き尾根を横切るつもりであったのだが雨山山頂までの足元のササなどを片付けるのに疲れたのでそのまま天山山頂に立つ、5名の登山者こんにちは春を思わせるポカポカ陽気で、広大な山頂に立つと、今の時には驚くほどの季節風が吹き荒れているのではと思ったのに穏やかで、(本当は季節風が吹き荒れて温度が一気に下がって佐賀平野ではこの風の事を天山卸し)と呼ぶのに今日は風もなく最高のお天気である。

かつては雨乞いに登ったとも伝えられてあり(あめやま)の別名があるのはそのためで、天山も雨山も展望は雄大なので、本当は天山山頂より北にジグザグに下ったところの三差路の分岐より、左に折れて天山に西側の山腹をトラバス道が、尾根を横切るつもりで歩いてみたかったけれど、雨山に登る登山道での草刈りの後のササなどをストックで片付けながらの作業で疲れたので今日はやめることに、天山山頂にておにぎりを食べ30分で下山する。

途中の鞍部の四辻に歩く予定であった、分岐より左を取り階段をゆっくり歩きながら天山上宮、スギ木立に囲まれた池の水も少なく鯉が一匹泳いでいる。

駐車場に帰り着く、車は2台ゆっくり県道337号線を曲折しながら、晴氣国道203号に小城町の森永君の家に立ち寄るも留守。

我が家に帰り着いた。1月から今日まで20回目の山行で、一人での山行であったけれどお天気も良く天山雨山と縦走するとミニ8の字周回ルートなので、又挑戦したいと本日は楽しい一人旅であった。

本村 節馬